

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち		評価担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成			課(室)名	デジタル社会基盤整備室
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進			電話番号	087-839-2455
	基本事業	集約拠点における都市機能集積		事業実施主体	市	
	事務事業	地理空間データ基盤整備事業		事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	当該事業は、スマートシティを推進する上で課題となっている、行政の管理する紙の台帳類（ベース・レジストリ）について、当「窓口業務の短縮」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を展開し、都市経営視点でのDXの推進及び都市政策の施策感度の向上を目指す。					
6年度概要	①GIS等保守管理費 ②WebAPI保守管理費 ③データ整備 ④システム移行（他課） ⑤許認可システム構築					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	6-⑦	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	行政が管理しなければならないインフラ関連の台帳類（ベース・レジストリ）					
意図（どのような状態にしたいか）	「窓口業務の短縮」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を目指す。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
①	地理空間データ基盤に登載する目的で協議した団体数	団体	0	0	15	20	15
②							

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標①	地理空間データ基盤に登載した官民の地図情報等の数	件	目標値	0	0	30	45	30
			実績値	0	0	41		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 庁内各課や民間と地理空間データ基盤活用による業務改善についての協議を進めることにより、地理空間データ基盤に地図情報等を目標の30件に対して41件に登載することができた。 							(達成度) 136.7% 35点
成果指標②	地理空間データ基盤上で提供されるサービス数	件	目標値	0	0	1	6	1
			実績値	0	0	5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 庁内各課や民間と地理空間データ基盤活用についての協議を進めることにより、アプリケーションを目標の1件に対して5件構築することができた。 							(達成度) 500.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	0	32,930	156,207	51,302
（事業費）	円	0	0	123,088	12,162
（職員人件費）	円	0	32,930	33,119	39,140

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 事業を推進していく上で、事務のスクラップ及び効率化を推進する必要がある。主に①窓口業務の手続き時短②台帳の更新の最適化③維持管理DX④デジタル化に向けたルール調整について整理する必要があると考えている。各々について、1次と2次含めた予算の考え方を今年度通して検討し、具体的なコストカットモデルの提案を行う。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後は、令和4年度に整備したデータ連携を可能とする基盤を活用し、業務の棚卸により更なる業務改善を進めるとともに、複数の分野間のデータ連携による活用事例を拡充させ、あらゆる分野での新たな価値の創出、持続性の高い地域課題の解決に取り組んでいく。			